

ヤンマーパワーテクノロジー(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 1933年に世界初のディーゼルエンジンの小型化・実用化に成功し、現在は産業エンジン事業(小形事業)に加え、大形船用エンジン事業(特機事業)で船舶推進、発電用、産業用のディーゼルエンジン、ガスエンジン、ガスタービンを生産している。
- 現在、従来燃料エンジンに加えて LNG燃料エンジンやSCR等を市場投入し、技術的競争力、価格競争力、世界各地に広がるサービスネットワークを武器に、外航補機関で世界トップシェアを確保している。



計画の概要

- 現在製造している船舶用ディーゼルエンジンに比べCO₂排出低減に大きく貢献しSO_x/PM,NO_xも大幅に削減できるLNG燃料エンジンについて、更なる出力向上や高メタン価ガス燃料にも対応した改良型の開発・商品化を行うとともに、商品ラインナップの充実を図る。
- 脱炭素化を実現する水素燃料エンジンについて、開発、生産設備整備等を確実に遂行し、2028年度を目途に開発・商品化を行う。また、舶用水素燃料電池システムについて、生産ラインを構築し、更なる増産を図る。さらに、これらの取組みを進めるにあたり、迅速な意思決定を行えるよう、大形船用エンジン事業を所掌する特機事業部を分社化(ヤンマーパワーソリューション(株))する。



水素燃料エンジン
(イメージ)



舶用水素燃料電池エンジン
(イメージ)

<計画実施期間> 2025年8月～2028年3月

<実施場所> ヤンマーパワーテクノロジー(株) 尼崎工場(兵庫県尼崎市)